

地域医療連携 ニュース



秋岡院長補佐（写真中央）と外来スタッフ

Contents

ご挨拶 (P.2)

院長補佐のご挨拶

埼玉医科大学・連携施設懇談会の報告 (P.2)

診療科のご紹介 (P.3)

脳神経内科／脳神経外科

医師のご紹介 (P.4-5)

耳鼻咽喉科／皮膚科／感染症科・感染制御科

看護部から (P.6)

呼吸ケア看護外来の紹介

提携医療機関から (P.6)

はんのう内科・腎クリニック

医療機関の方へ (P.7)

提携医療機関・登録医制度及びインターネット
予約(カルナ予約)について／予約センター(電
話初診予約)について

ご挨拶

院長補佐 秋岡 祐子



日中の暑さは衰えを知らぬばかりですが、夕方を過ぎると涼しい風が心地よく感じるようになりました。皆様にはお変わりなくご活躍のことと存じます。

大学病院では、篠塚病院長を室長とする医療の質改善室を置き、質の高い医療の実践に取り組んでいます。質の高い医療とは、安全、適時、効果的、効率的、公平で、患者さんにとって価値ある医療です。部署単位で改善課題を選定し、立案した改善策を実行するとともに、その効果を検証し、次の質改善活動につなげています。これらを総じて、病院全体の質改善を目指しています。

とりわけ、この春からの医師の働き方改革のため、全職種で業務の効率化に努めてまいりました。連携施設の先生方や患者さんに不都合はないでしょうか。何かお気づきの点がありましたら遠慮なくご指摘ください。引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

第46回

埼玉医科大学・連携施設懇談会 を開催しました

埼玉医科大学は、去る6月19日に学内において第46回埼玉医科大学・連携施設懇談会（以下、懇談会）を開催致しました。

学術講演では、当院リウマチ膠原病科より「関節リウマチ診療・治療戦略と患者ケア」と題して、関節リウマチの疫学や診断と治療目標等について講演をいただきました。

特別講演には、厚生労働省よりweb講演にて「これからの医療提供体制が目指すもの」と題して、日本のこれからと地域の抱える課題、地域医療構想の取り組み、2024年度診療報酬改定の概要、地域での取り組みについてお話をいただきました。

この懇談会は、先生方との連携を一層深める重要な機会として継続しており、

今回で46回を迎え、web参加と会場参加を含めて約280名の参加者のもと盛大に開催することが出来ました。これも先生方のお力添えと感謝致しております。

今後も懇談会にご協力いただきますようお願い申し上げますと共に、先生方の益々のご健勝とご活躍を祈念致します。

埼玉医科大学・連携施設懇談会事務局



埼玉医科大学毛呂山キャンパス内講堂にて
ハイブリッド開催風景

診療科のご紹介

脳神経内科 教授 山元 敏正 (ヤマモト トシマサ) 外来☎：049-276-2034

当科では、アルツハイマー病などの認知症疾患、パーキンソン病やパーキンソン症候群、片頭痛や緊張型頭痛などの一次性頭痛、脳梗塞などの脳血管障害、多発性硬化症、ギランバレー症候群、重症筋無力症などの免疫介在性神経疾患など、様々な神経疾患に対応できる診療体制を整えています。とくに進行期パーキンソン病に対しては、L-Dopa製剤の持続皮下注療法や持続経腸療法、脳深部刺激療法の中から、個々の患者に最も適切な治療法を選択して実施しています。難治性片頭痛にはCGRP関連抗体薬を使用し、従来の予防薬と比較して劇的効果が得られています。またマス

コミでも話題となっておりますアルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβを除去するレカネマブによる治療も開始しています。このように、当科では多様な神経疾患に対して各分野のエキスパートが最善・最新の治療を行っていますので、安心して患者さんをご紹介します。紹介していた患者さんの病状が安定した場合には、紹介元を含む地域の連携機関での継続診療をお願いしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



診療部長からのメッセージ 診療部長：山元 敏正

2024年4月に順天堂大学病院より、パーキンソン病を専門とする大山彦光先生が教授として当院に赴任してまいりました。元々、当科は神経変性疾患の診療において定評がありましたが、さらに高度な医療を提供できると確信しております。また私は2024年8月から、埼玉医科大学医師会の会長を務めることになりました。当院にとって、今後ますます病診連携は重要となってきますので、医師会の先生方と情報交換を活発に行ない、地域連携機関のお役に立つ医療機関となるよう尽力する所存でございます。引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

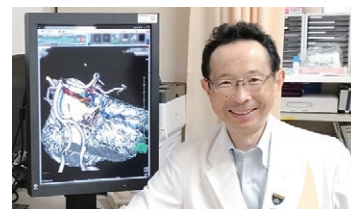
脳神経外科 教授 小林 正人 (コバヤシ マサヒト) 外来☎：049-276-1287

埼玉医科大学病院の脳神経外科は「機能的脳神経外科」「てんかん外科」に特化した施設です。これらは脳の機能を調整し、症状を改善するための“脳神経外科”です。

対象となる疾患は、パーキンソン病、難治性てんかん、顔面痙攣、三叉神経痛、振戦やジストニア、難治性疼痛、脳卒中後の痙縮などです。薬物治療では治療が不十分なふるえ、不随意運動、けいれん、痛みなどの症状を改善します。

脳機能の改善を目指す手術ですから、合併症防止には心血を注ぎます。手術では万全に準備し、慎重かつ可能な限り小さな創で低侵襲な手技で行

います。頭に小さな穴を開けて1mm以内の精度でピンポイントに病変に到達する手術を「定位的脳手術」と呼び、機能的脳神経外科には欠かせない技術です。合併症の発生率は極めて低く、我々の得意とする手術法です。当院は日本定位・機能神経外科学会の技術認定施設（全国41施設）に指定されています。また、当院はてんかん診療拠点機関であり、脳神経外科には2名のてんかん専門医がおり、てんかんの外科治療を担っております。



診療部長からのメッセージ 診療部長：小林 正人

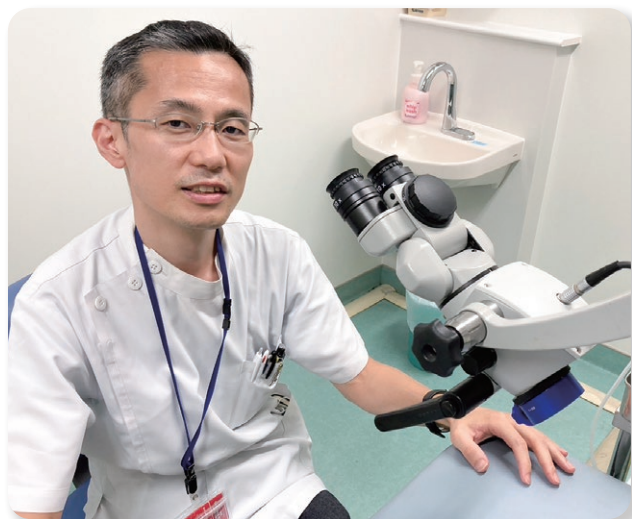
1997年にパーキンソン病と難治性疼痛の手術を経験して以来、25年以上機能的脳神経外科の修練を続けております。この間様々な手術機器の改善があり治せる疾患も増えました。16年前に当院に就任し藤巻高光教授の元、約800名の顔面けいれん、三叉神経痛の手術にも携わりました。これからもDo no harm、師弟同行を信条に、教室員一同切磋琢磨してまいります。

医師のご紹介

耳鼻咽喉科 講師(外来医長) 松田 帆 (マツダ ハン)

当科では、耳の蛋白・遺伝子の研究から、世界初の外リンパ瘻（がいりんぱろう）の診断マーカーCTPを発見しました。2年前にこの検査は保険収載され全国で活用されています。最近になって、前向き研究を行ったところ感音難聴の代表である「突発性難聴患者（以下突難）」の中に、外リンパ瘻の患者さんが約二割も存在することがわかりました。外リンパ瘻は今まで原因不明とされた突難の代表的原因だったのです。突難には、一般的にステロイド剤が使用されますが、その治療効果のエビデンスはまだありません。一方で外リンパ瘻の場合には手術で根治が可能です。研究を重ねた結果、より簡便に実施できて、高い効果が見込める治療法を開発することができました。突難以外にも、進行性難聴

や変動性難聴、また慢性めまいの患者さんにも有効です。是非ご相談ください。



耳鼻咽喉科 講師(病棟医長) 細川 悠 (ホソカワ ユウ)

耳鼻咽喉科の細川悠です。2022年4月より埼玉医科大学病院に赴任いたしました。赴任当初、コロナの影響で鼻手術件数が大幅に減少していました。新任の私の役割は、手術件数を増やす、さらには執刀医一人一人の技術を向上させることでありました。講演会や紹介状のやりとりなどの工夫、何より手術の完成度を高めることで、現在では年間320件ほどの鼻手術を行うまでになりました。近年の手術技術は目覚ましい進歩を遂げています。鼻副鼻腔炎に対する手術は内視鏡を使用することで腫れも少なく安全性と根治性が向上しています。また、重症の鼻中隔彎曲症や外鼻変形に対応する「鼻中隔・外鼻形成術」も実施しており、国内最先端の手術技術で知られるようになり多くの患者さんが受診しています。

その他、鼻副鼻腔悪性腫瘍、萎縮性鼻炎など様々な疾患に対応できる体制が整っています。今後も内視鏡手術を中心とした患者侵襲の少ない安全な手術治療を提供して参ります。





皮膚科 助教 佐々木 庸介 (ササキ ヨウスケ)

平素より大変お世話になっております。

“皮膚のできもの”を主訴に当科を受診される患者さんは多いですが、なかには悪性腫瘍もあり、正確な診断と適切な治療が求められます。

皮膚科の腫瘍外来は良性から悪性まで幅広く皮膚腫瘍を扱う専門外来です。腫瘍外来では手術だけではなく、化学療法や放射線療法、局所療法や各種補助療法なども含めて総合的に提案し、患者さんの希望や背景に合わせた治療を提供できるように取り組んでいます。当外来を担当しているのは専門施設で研修を積んだ男性医師1名、女性医師1名です。のでプライベートパーツにも柔軟に対応いたします。

良悪性を問わず、“皮膚のできもの”でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。



上村杏奈先生

佐々木庸介先生

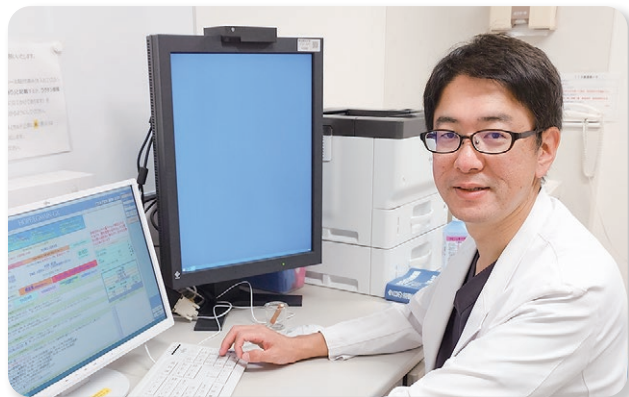
教授のご紹介

感染症科・感染制御科 教授 樽本 憲人 (タルモト ノリヒト)

近隣地域の医療機関の皆さま、平素より大変お世話になっております。このたび、2024年7月1日付で埼玉医科大学感染症科・感染制御科教授を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当科は、主にHIV及び結核症の外来診療を行っております。HIVについては、近年登場したシングルタブレットや注射製剤を積極的に導入することで、患者の治療負担を軽減するとともに、多職種で服薬指導やカウンセリング、社会資源の相談などを行い、患者中心の診療にあたっております。そのほかCOVID-19および罹患後症状、梅毒などの性感染症、寄生虫、渡航者感染症なども診療

しております。感染症でお困りのことがございましたら、ぜひともご紹介頂けますと幸いです。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



看護部から

呼吸ケア看護外来の紹介

呼吸器疾患を持つ患者さんの中には、在宅で酸素や人工呼吸器を使用しながら生活しなければいけない方がいらっしゃいます。安全に快適な生活をするためには、正しい器具の使用方法や排痰法、吸引法、呼吸法などを身に付ける必要があります。呼吸ケア外来では、そのような方に対して、慢性呼吸器疾患看護認定看護師が「今後の治療についての意思決定に向けた支援」や「自己管理のための技術の習得に向けた支援」を行っています。



吸入指導

また、入院患者さんには退院後の生活を見据えて、その人らしく生活できるように関わっています。なぜ酸素吸入や人工呼吸器を使用しなければいけないのか、必要性の理解を促しながら

ら受け入れられるように寄り添っています。

近頃息切れが強くなり身動きが大変と感じている方、階段や上り坂で息切れを感じている方には、息切れが少なく動ける呼吸法などをお教えしています。また、在宅酸素・在宅人工呼吸器のことがわからない方には具体的に使用方法などお教えしています。些細な事でも相談をお受けしますので、お気軽にご連絡ください。



HOT指導

呼吸ケア看護外来

毎週木曜日 14時～17時

連絡先

呼吸器内科外来：049-276-1197



慢性呼吸器疾患看護認定看護師 北川美奈

提携医療機関から

医療法人周峰会 はんのう内科・腎クリニック 📍 飯能市

当院は2018年10月に開院し、腎臓内科と人工透析内科の診療を中心に、地域医療に貢献できるよう、できるだけ専門性の高い診療を心がけて取り組んでおります。また、健康診断などで慢性腎臓病が疑われた方が専門医のいる当院で精査を希望され来院して頂いております。

カルナシステムは診療科やCTなどの各種検査の予約をする際に、患者様の都合にあわせてその場で予約することができるため、よく利用させて頂いており、大変感謝しております。今後も貴院と密に医療連携がとれればと思います。



院長：加藤 信孝

医療機関情報
 診療科目 内科・腎臓内科、人工透析内科
 診療時間 午前 9:00～11:00
 午後 14:00～17:00
 休診日 日曜、祝日（木曜、土曜午後は休診）
 HP: <https://www.hanno-naika-jin-cl.jp/>

医療機関の方へ

● 提携医療機関・登録医制度及びインターネット予約（カルナ予約）について

提携医療機関・登録医制度について

埼玉医科大学病院と地域の医療機関とで、患者さんに一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療提携を図ります。

目的

医療をとりまく環境の変化は地域の医療機関相互の連携を中心とした病院・医院（診療所）のあり方を大きく変えてきています。特に最近は大病院指向が強く、大病院では病態に応じた適切な治療が困難な状況になっています。そこで埼玉医科大学病院と地域医療機関とで、患者に一貫性のある適切な医療を提供するために、相互が協力・緊密な医療提携の許に、それぞれの機能の向上を図り、かつ地域医療の充実、発展に資することを目的として「提携医療機関・登録医制度」を創設いたします。近隣（関東エリア）の施設を中心に病診連携の推進に向け登録をしております。

インターネット予約（カルナ予約）

インターネット（カルナ予約）にて、CT検査、MRI検査、アイソトープ検査、心エコー検査、腹部エコー検査などの検査及び診療科（一部除く）の予約が取得できます。患者情報（診療情報提供含む）を入力していただくことで、受診日の予約ができます。紹介患者さんは受診日に初診受付に寄らずに、直接診療科又は検査受付にてお待ちいただけます。なお、提携医療機関（登録医）に申し込まれた医療機関のみがシステムの利用条件になります。

【詳しくは 当院ホームページ「医療機関の方へ」

→「地域医療機関との病診連携システム」→「お申し込み方法」をご覧ください。】

● 予約センター（電話初診予約）について【予約センター：049-276-1179】

☎ **予約受付時間** 8:30～17:00 月曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）

電話でご紹介頂く患者さんの初診予約を行います。紹介状をお持ちの初診患者さん専用となります。

ご紹介患者さんの受診科が決まりましたら、紹介状と一緒に電話初診予約ご案内書を患者さんへお渡しください。お渡しいただく際に、患者さん自身で予約センターへ電話連絡の上、予約をとってから受診いただきますようご案内お願いいたします。

※ただし、予約枠の無い診療科がありますので、予めご了承ください。

なお、患者さん自身で電話予約ができない場合は、お手数ですが、医療機関様よりご連絡いただけますようお願いいたします。



電話初診予約ご案内書

救急患者のご紹介は直接、救急センターへご連絡ください。
TEL：049-276-1199 FAX：049-295-8007

埼玉医科大学 建学の理念

- 第1 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長
を主体的に開展し得る人間の育成
- 第3 師弟同行の学風の育成

埼玉医科大学の 期待する医療人像

高い倫理観と人間性の涵養
国際水準の医学・医療の実践
社会的視点に立った調和と協力

●埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

●病院の基本方針

- 1. すべての病める人々にまごころを
もって臨みます。
- 2. 安心で質の高い医療を実践します。
- 3. まわりの医療機関と協力し合います。
- 4. 高い技能を持つ心豊かな人材を
育成します。
- 5. より幸せとなる医療を求めた
研究を推進します。

●患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① ひとりひとりが大切にされる権利
- ② 安心で質の高い医療を受ける権利
- ③ ご自分の希望を述べる権利
- ④ 納得できるまで説明を聞く権利
- ⑤ 医療内容をご自分で決める権利
- ⑥ プライバシーが守られる権利

●小児患者さんの権利

当院は、すべての小児の患者さんには、以下の権利があるものと考えます。
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① こどもが最善の治療を受けて
生きる権利
- ② こどもが暴力から守られる権利
- ③ こどもが能力を十分に伸ばせる
ような医療を受ける権利
- ④ こどもが自分の診療について
自由に意見を述べる権利

☎ 連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター	: 049-276-1199	医療福祉相談室（退院調整）	: 049-276-2119
地域医療連携室	: 049-276-1876	入退院・患者支援室	: 049-276-1484
予約センター（外来初診予約）	: 049-276-1179	セカンドオピニオン受付	: 049-276-1121



埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース（21号）

発 行：埼玉医科大学病院
発行責任者：篠塚 望
編 集：埼玉医科大学病院広報戦略委員会・地域医療連携室
編集責任者：池園 哲郎・中里 良彦
電 話：049-276-1876 地域医療連携室
住 所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
発 行 日：2024年9月1日

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。